

	重点目標	評価の観点	評価：達成度判断基準	達成状況（考察と改善方針等）
1	基礎・基本の確実な定着 ①つけたい力を明確に持った教育計画 ②見通しをもった校内研修と実践の充実 ③基礎学力の定着のシステムの充実	<成果指標> ・「好きな学習は、国語・算数・体育」を選ぶ児童が80%を超える。	達成基準＝児童アンケートで全体得点が A：80%以上 B：70～80%未満 C：50～70%未満（58.2%） D：50%未満	学校研究は国語。「国語が好き」と回答する児童は昨年度末64%であったが、今回45%となった。国語の授業改善を重ねわかりやすい授業づくりをすすめていく。
		<満足度指標> ・学校は楽しく分かる授業づくりに努めている。	達成基準：保護者アンケートで全体得点が A：80点以上（84%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	児童に力をつけることはもちろん、保護者参加型の授業を展開することで努力の成果が伝わるようにしていく。
		<努力指標> ・研修課題を学年の実態に即して具体的に取り組んでいる。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が A：80点以上（92%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	昨年度末の85%から上昇。授業改善の努力とその成果を実感しようと、職員が主体的に取り組んでいる。
2	豊かな人間関係作り・社会性の育成 ①道徳の授業の充実 ②児童の心の耕し ③生活指導の充実	<成果指標> ・「いま、学校は楽しい」と答える児童が多い。	達成基準＝児童アンケートで全体得点が A：80点以上（91%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	昨年度末の95%から少し下がっている。自己存在感や有用感を感じる活動や個別対応を継続していく。
		<満足度指標> ・学校はいじめ・不登校のない楽しい学級づくりに努めている。	達成基準：保護者アンケートで全体得点が A：80点以上 B：70～80点未満（79%） C：50～70点未満 D：50点未満	「わからない」と回答した保護者が6名。積極的な生徒指導としてどんな取組をしているのか保護者に知らせ、協力を得る機会をもつ。
		<努力指標> ・子どもの不安や悩みを理解し、個に応じた指導に取り組んでいる。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が A：80点以上（83%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	常時、全校児童を全職員でみてきた。全職員で情報を共有し、指導の方針がぶれないようにしている。困り感のある児童の話をよく聞くようにしていく。

3	保護者・地域に信頼される学校作り ①開かれた学校 ②情報の公開 ③指導力の向上 ④教育公務員としての自覚	<成果指標> ・「学校は、子どもの事について気軽に相談できる」項目の点数が80点を超える。	達成基準：保護者アンケートで全体得点が A：80点以上 B：70～80点未満（78%） C：50～70点未満 D：50点未満	学校の様子をこまめに発信する。電話対応、連絡帳、授業参観、学校公開、個人懇談等を保護者との意思疎通をするよい機会ととらえる。
		<満足度指標> ・教育方針や子どもの様子が学校・学級だよりや参観日等で分かる。	達成基準：保護者・地域アンケートで全体得点が A：80点以上（84%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	学校だより、学級だよりが保護者や地域の理解を深めるツールのひとつになっていることを心に置いてさらに発信をしていく。
		<努力指標> ・学級だよりで、学級経営方針や児童の様子を保護者に知らせている。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が A：80点以上 B：70～80点未満（78%） C：50～70点未満 D：50点未満	保護者の理解と協力を得るためにも、まずは「知らせる」ことに重きを置いて、たよりを作成していく。
		<努力指標> ・地域の人材や素材を活用した授業を取り入れている。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が A：80点以上 B：70～80点未満（75%） C：50～70点未満 D：50点未満	里海科・道徳・総合・各教科等でさらに活用し、次年度につながるデータベースを作成していく。
4	プロとしての自分を磨き、子どもに関わりきる教職員 ①健康安全活動の充実 ②体力の向上	<成果指標> ・指導計画に基づいて、教材教具を適切に整備・管理・活用している。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が A：80点以上（82%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	指導要領の改訂に備えて、慎重に移行期間を過ごしていく。
		<満足度指標> ・「学校は、安全・快適な環境づくりに努力している」項目が80点を超える。	達成基準：保護者アンケートで全体得点が A：80点以上（83%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	全教室にエアコンが設置されたことにより、今夏の酷暑から安全で快適な環境で学習できるようになった。
		<努力指標> ・学級経営目標や取り組みは、具体的で評価できる内容になっている。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が A：80点以上（84%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	目標や1学期の取組内容をふり返し、2学期、何のためにその取組をしているのか、どんな力を児童につけることができるのか念頭に置いて活動する。

5	多忙化改善・業務の効率化 ①働き方改革の意識 ②業務の効率化の推進	<p><成果指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の業務に見通しを持ち、切や時間を意識して取り組んでいる。 	<p>達成基準＝教職員アンケートで全体得点が</p> <p>Ⓐ：80点以上（83%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満</p>	<p>1年を見通して、行動するように今後も引き続き取り組んでいく。</p>
		<p><満足度指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 業務改善を意識し、業務の効率化を図るための工夫をしている。 	<p>達成基準：教職員アンケートで全体得点が</p> <p>A：80点以上 Ⓑ：70～80点未満（78%） C：50～70点未満 D：50点未満</p>	<p>個人差があることから、業務の平準化を推進するとともに、退庁時刻を自己申告し、効率化を進めていく。</p>
		<p><努力指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 効率的に業務を行うために、身辺（机まわり）を整理整頓し共有物の扱いにも気を配っている。 	<p>達成基準＝教職員アンケートで全体得点が</p> <p>A：80点以上 Ⓑ：70～80点未満（75%） C：50～70点未満 D：50点未満</p>	<p>仕事のやりやすい環境づくりを心がけ、職員同士が声を掛け合って取り組む環境を作っていく。</p>